

## 仙台楽生園ユニットケア施設群における地域共生社会の取り組み

仙台市認知症介護指導者 佐々木薫

キーワード: 共生社会、地域包括ケア、支えあい活動

### 活動の概要(活動の主体:法人)

#### 【活動目的】

社会福祉における諸問題の解決を図るためには地域共生社会の実現が求められている。そこで、地域包括支援センターが中心となって、在宅サービスと施設サービスが協働連携し、地域共生社会の実現に貢献することを目的とする。

#### 【活動内容】

地域団体や行政、福祉関係機関等で「荒巻安心タウン構築委員会」を組織し、認知症地域資源マップの作成に取り組んだ。また、マップの作成に伴い町内会長、地区社協の福祉委員に認知症に対する啓発活動を行った。なお、認知症マップ作成後は、「荒巻安心タウン推進委員会」と名前を変え、要援護者マップの作成、認知症サポーター活用、オレンジカフェ等へと活動の幅を広げている。さらに安心・安全なまちづくりを進めるべく、「荒巻地区福祉向上委員会」を組織し、地域住民主体で組織する荒巻支え合いセンターを設置するなど、地域共生社会の実現に向け発展し続けている。

#### 活動のきっかけ、背景(その他の立場で)

筆者が所属する法人の事業所の一つに「葉山地域包括支援センター」があり、この事業所で「認知症地域資源マップ」作成のモデル事業に選定された。しかし、住み慣れた地域での安心・安全な生活を保障するためにはこれだけでは足りないと考え、地域住民等と協働して「地域防災社会資源マップ」「要援護者マップ」の作成を同時に行うこととした。

#### 活動の経過と成果

##### 【活動の経過】

平成 24 年に地域包括支援センターの職員と町内会や地区社協、民生児童委員、地域の介護事業所等が協働して「荒巻安心タウン構築委員会」を組織し、「荒巻安心・安全タウンマップ」の作成及び地域住民向け認知症研修を実施、平成 26 年には「荒巻安心タウン推進委員会」を設置し、住民向けアンケートや町内会長との懇談会を実施するとともに葉山オレンジカフェを開始。平成 27 年には「荒巻地区個性ある地域づくり計画策定委員会」に参画し、荒巻地区防災訓練を支援するとともに街づくりアンケートを実施した。平成 29 年には「荒巻地区まちづくり委員会」に参画するとともに「荒巻地区福祉向上委員会」を設置し、荒巻地区福祉向上委員会コア会議を開催するほか、地域包括ケア学習会を実施。令和元年には「荒巻支え合いセンター」を設置し、担い手を募り育てる取り組みを行った。

##### 【活動の成果】

閉じこもり予防や安否確認等、認知症の人が地域で安心して暮らすための生活支援体制を築いた。また、それらの担い手を募り育てるとともに、担い手が活動の充実できるような支援を行った。

地域住民や地域団体だけで運営する「荒巻支え合いセンター」が設置され、相互扶助の活動が始まった。これは地域包括ケアのモデルとなるもので、仙台や青葉区からも期待される活動となった。

#### 今後の展望

今後は「荒巻まちづくり委員会」や「荒巻支え合いセンター」に参画し、地域包括ケアシステムの構築や共生社会の実現に向けて努力していきたい。そのためには地域住民・団体への啓発や、それらを通じて地域への情報発信を積極的に行っていくことが必要であろう。具体的には、認知症サポーターの養成やネットワークの構築、近隣防災協定の推進、小中学校への認知症に関する学習提供、認知症に関わる人材育成などである。この町全体が「オレンジタウン」と呼ばれるような、認知症の人にやさしい町になることを目指して活動していきたい。